

みずほCustomer Desk Report 2016/10/06 号(As of 2016/10/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	GBP/USD	AUD/USD	公示値	102.73
TKY 9:00AM	102.87	1.1209	115.29	0.9785	1.2726	0.7610		
SYD-NY High	103.67	1.1233	116.25	0.9791	1.2771	0.7644		
SYD-NY Low	102.67	1.1190	115.13	0.9734	1.2686	0.7593		
NY 5:00 PM	103.50	1.1206	116.01	0.9742	1.2748	0.7621		
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.775/11.125		△25RR	0.473	Yen Call Over			

NY DOW	18,281.03	112.58		日本2年債	-0.2760	0.2bp
NASDAQ	5,316.02	26.36		日本10年債	-0.0570	1.5bp
S&P	2,159.73	9.24		米国2年債	0.8316	1.0bp
日経平均	16,819.24	83.59		米国5年債	1.2434	1.6bp
TOPIX	1,347.81	7.60		米国10年債	1.7021	1.6bp
シカゴ日経先物	16,985	215.00		独10年債	-0.0050	4.9bp
ロンドンFT	7,033.25	▲41.09		英10年債	0.8150	3.6bp
DAX	10,585.78	▲33.83		豪10年債	2.1250	5.6bp
ハンセン指数	23,788.31	98.87		為替市況	USD/CNH	6.6990
上海総合	-	-			ドルインデックス	96.16
USDJPY 3M Vol	11.66	▲0.23%		商品市況	CRB指数	188.782
USDJPY 6M Vol	11.35	▲0.15%			NY金	1,268.600
EURJPY 3M Vol	11.94	▲0.17%			WTI	49.830
EURJPY 6M Vol	11.96	▲0.15%			Dubai Spot	48.96

東京 東京時間のドル円は102.87レベルでオープン。エバンス・シカゴ連銀総裁(2017年投票権あり)より「利上げペースは非常に緩やかになる」との発言が伝わると、ドル円は102.70近辺まで小幅に下落する展開。しかしその後、堅調な日経平均株価の動きに引っ張られる形で、ドル円は102.90近辺まで反発。但し、さらなる上値追いの展開とはならず、103円が強く意識される中、上値を抑えられる格好となり、102円台後半で揉み合い推移に終始した。東京時間引け間際に一時102.99を付けた後、102.87レベルで海外市場に渡った。ユーロは1.1209レベルで東京時間オープン。前日海外時間に報じられたECBによる早期TAPERING観測を背景に上昇する展開となると、一時1.1228まで上昇。その後は1.12台前半で揉み合い推移が続き、1.1222レベルで海外市場に渡った。一方、ポンドドルは1.2726レベルで東京時間オープンした後、横ばい推移となっていたが、ロンドン時間入り際に再度ハートブレイジングが意識されると、前日安値を下抜けて一時1.2701まで下落。1.2704レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)

ロンドン ロンドン時間のドル円は103円台前半まで上昇する展開となった。朝方は102.87レベルでオープン。欧洲時間序盤からユーロ円を中心に入り込みが堅調推移し、ドル円もつれ高となった。ユーロ円・ドル円がほぼ同じタイミングでそれぞれの日中高値を上抜けると両通貨ペア共に上昇圧力が増し、ドル円は103.16まで上昇。その後は103円台前半でレンジ推移となり、103.08レベルでNYへ渡った。ポンドドルはロンドン時間入り前の下落分をすぐに取り戻し、その後1.27台前半でレンジ推移となった。朝方は1.27041レベルでオープンした後、一時安値1.2686まで下落。その後、英金利が序盤から上昇する展開となった事もありポンドは買い戻され、ポンドドルは1.27台前半まで値を戻し、1.2721レベルでNYへ渡った。(ロンドルリー 日比野 00531 444 179)

ニューヨーク NY時間のドル円は103.08レベルでオープン。朝方発表された米9月ADP雇用統計が予想を下回ると102.85まで下落。しかし、その後発表された米9月ISM非製造業景況指数(総合)が予想を大きく上回るドル買いが優勢となり、ドル円は103.30付近でのストップを巻き込みつつ103.60まで上昇。良好な米経済指標を受けてリスクオムードが強まり、米10年債利回りは1.7%台へ乗せ、米株式市場、商品市場がプラス幅を拡大する動きにドル円は下値をサポートされ一時103.67まで上昇した。結局103.50レベルで海外市場に渡った。一方、ユーロドルは1.1217レベルでNYオープン。朝方発表された米経済指標が予想を上回るドル買いが強まり1.1190まで下落。しかし前日のECBテーパリングの報道も意識される中、ユーロ円が1ヶ月ぶりの水準である116.25まで上昇する動きに、この水準ではユーロ買い意欲も強く、1.1220まで反発し、1.1206レベルで海外市場に渡った。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧説を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:矢野・西谷

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想	
10月5日	9:00	米	エバンス・シカゴ連銀総裁講演	-	
	16:55	独	マーケット総合/サービス業PMI- 確報値	9月 52.8/50.9	52.7/50.6
	17:00	欧	マーケット総合/サービス業PMI- 確報値	9月 52.6/52.2	52.6/52.1
	17:30	英	マーケット総合/サービス業PMI- 確報値	9月 53.9/52.6	52.3/52.2
	21:15	米	ADP雇用統計	9月 154K	165K
	21:30	米	貿易収支	8月 -\$40.7B	-\$39.2B
	22:30	米	カシュカリ・ミネアボリス連銀総裁挨拶	-	-
	22:45	米	マーケット総合/サービス業PMI- 確報値	9月 52.3/52.3	-/51.9
	23:00	米	ISM非製造業景況指数	9月 57.1	53.0
	23:00	米	製造業受注指數	8月 0.2%	-0.2%
10月6日	6:00	米	ラッカー・リッチモンド連銀総裁講演	-	-

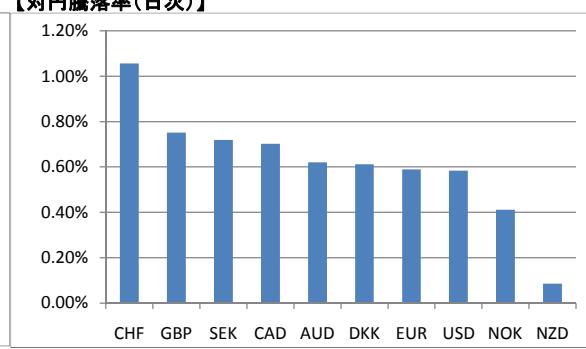
【本日の予定】

Date	Event	予想	前回
10月6日	8:50 日	対外・対内証券投資	-
	15:00 独	製造業受注指數(前月比)	8月 0.3%
	20:30 欧	ECB理事会議事要旨公表	-
	21:30 米	新規失業保険申請件数	256K
	- -	G20財務省・中央銀行総裁会議(10/6-7)	254K

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	103.00-104.00	1.1180-1.1230	115.50-116.50

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間は一段高の展開。米ISM非製造業景況感指数の良好な結果を受け米利上げ観測が高まり、これに伴ってドル買いが進行した。本日は底堅い展開を予想。米景気指標の良好な結果がサポート材料となり、下値の堅い推移となろう。ただ、明日に米雇用統計を控えていることからも、上昇幅は限定的となろう。